

電気工学専攻の長澤和也さんが電子情報通信学会

平成 27 年度電磁界理論研究会「学生優秀発表賞」を受賞しました。

2016 年 3 月 18 日に九州大学で行われた電子情報通信学会 平成 27 年度電磁界理論研究会の表彰式にて、電気工学専攻博士前期課程の長澤和也さんが「学生優秀発表賞」を受賞しました。

受賞の対象の論文は、第 44 回電磁界理論シンポジウムで発表された以下の論文です。
論文名: Electromagnetic Field Analysis of Localized Surface Plasmons in a Gold Nano-Cylinder Chain —Wavelength Response due to the Polarization Direction of Excitation Light—

(日本語): 微小金円柱列における局在表面プラズモンの電磁界解析—励起光の偏光方向に対する波長応答—

本研究では、ナノスケールの金円柱列について電磁界解析を行い、光の偏光方向を変化させた際の円柱列の光学特性を明らかにしました。また、ナノスケールの円柱列によって光の位相制御が可能であることを示し、新規偏波変換素子の提案を行いました。本研究内容が評価され、本賞の受賞に至りました。

これらの成果の一部は、文部科学省「戦略的研究基盤形成支援事業(代表: 電子工学科 塚本 新 教授)」の支援を受けて実施されました。

